1998年10月9日第三種郵便物認可（毎月3回8日発行）2023年12月7日発行SSKU増刊通巻第7770号

ワイワイ、ガヤガヤと未来を語り合う

7月1日（土）湘南国際村センターで４年振りにみなと舎シンポジウムが開催されました。前半のシンポジウムでは、前理事長の飯野さんから新理事長の森下さんへ襷が引き継がれました。
途中、歓談を挟んでからの後半では、「未来を語り合おう」をテーマに

- 地域共生について
- 求人活動について
- 大切にしていること

をそれぞれの視点からスタッフが発表を行い語り合いました。
「ワイワイ、ガヤガヤ」そんな中での約2時間、また1歩みなと舎が前に進んだ1日となりました。是非、次回のシンポジウムもご期待ください。

法人本部

後援会事務局からのお知らせ

いつもみなと舎にお力添え下さいまして、ありがとうございます。
この度、後援会会員の皆様には、2023年度の会費(2023年4月1日～2024年3月31日)用の郵便振替用紙を同封させていただきました。
すでに会費を納めていただいた方には入っておりません。
お手元に届く途中に納めていただいた場合は、用紙が入っておりますがどうぞご了承下さいませ。
今年度も引き続き会員の継続をいただきますようお願い申し上げます。

みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.minato-yuu.or.jp　社会福祉法人 みなと舎　検索

求人問い合わせ：山本・森下　TEL: 046-855-3911　FAX:046-855-3912

発行人 〒157-0072東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷１０２　障害者団体定期刊行物協会
編集人 社会福祉法人「みなと舎」定価５０円

1998年10月9日第三種郵便物認可（毎月3回8日発行）2023年12月7日発行SSKU増刊通巻第7770号

社会福祉法人「みなと舎」広報誌

SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会　編集責任者　松田直
〒240-0104　神奈川県横須賀市芦名2-8-17
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

理事長退任のご挨拶

「我が子の人生が豊かなものであってほしい･･･」
親の「慈愛」を受けて「メンバーさん中心」の社会福祉法人「みなと舎」は生まれました。
これまでにスタッフをはじめ多くの方々に支えられ、「みなと舎」は今日を迎えることができたことに「感謝」を覚えます。そして何よりもメンバーさんを支えてきた私たちですが、今は「私たちの方がメンバーさんに支えられて今日がある」事を感じる日々があり、「深い感謝」を更に覚えます。
あれから「みなと舎」は26年の月日が経ちました。親から子へ、子から孫へと代が変わるように、私にも代の変わる「その時」が来ました。
この度、社会福祉法人みなと舎の理事長を森下浩明さんが引き継いで下さることになりました。これからの福祉時代を切り開く先達者の一人として、現在活躍しておられます。
「メンバーさんの人生がより豊かになる」ために、とても心強い限りです。
皆様の支えがあってこそできる私たちのこの使命、どうぞよろしくお願いいたします。これまでありがとうございました。感謝のうちに。

前理事長
飯野雄彦
新理事長
森下浩明

みなと舎は、これからも変わらない！

一人一人の人生は、本人を主人公とした「物語」です。周りの人々は、その物語のキャストであったり裏方であったり、人生の酸いも甘いも含め物語を豊かにするためには欠かせません。「みなと舎」はそんな「物語」を紡いでいく、一つの舞台です。
「みなと舎物語」の主役は「メンバーさん」です。みなと舎は、メンバーさんが居るから存在し、メンバーさんの人生支援を目的に、メンバー中心支援を掲げながら、街の中で人々の中で物語は展開されます。そして、身近な地域社会で起こっている出来事を通して、多様性を求めていく社会の在り方に対しても、目を向けていくことは大切なことです。なぜなら、この社会の中で一番生きにくさを感じている人たちの一人がメンバーさんたちだからです。
メンバーさんの存在を通して見えてくる社会の風景は、みなと舎がチャレンジすべきテーマです。笑顔の中で、笑顔を絶やさず、メンバーさんの生きる波長をとらえながら、メンバーさんを通してみなと舎を好きになってくれる「Fan（ファン）」を増やします。元理事長瀧川郁子さん、前理事長飯野雄彦さん、メンバーさんの家族の皆さん、そして、スタッフとの出会いに支えられながら、共に進んでいきます。
26年続いているロングセラーは、まだまだ終わりません。たぶんメンバーさんが居る限り、この「物語」の終焉はこないでしょう。今もこれからも変わらず続いていきます。

● 理事長交代
理事長退任のご挨拶
みなと舎は、これからも変わらない！
● ゆう
祝！25周年
● ケアホームはなえみ
防災訓練
● ライフゆう
ビアガーデン
● 法人本部
ワイワイ、ガヤガヤと未来を語り合う
● 後援会事務局からのお知らせ

111号
2023年12月

1998年10月9日第三種郵便物認可（毎月3回8日発行）2023年12月7日発行SSKU増刊通巻第7770号

25周年
おめでとうございます！

ぱっかーん！

ドキドキの鏡開き！

ゆう

祝！25周年

ゆう支援課長 前田智美

楽しいダンスタイムに
自然と体が動きます♪

夏空が広がる8月1日、「ゆう」が25周年を迎えました！
大切な人と出会うことができたのも「ゆう」があったから…。
25周年式典は、メンバーさんと新理事長の鏡開きから始まり、
ライフゆうのメンバーさんから施設長へのお祝いのプレゼントが手渡されました。
そして…飯野さんのウクレレの演奏に合わせて「みなと舎のうた」をみんなで斉唱♪
最後は…全員で沖縄風の音楽に合わせてダンスタイムと盛りだくさんです！
式典後は、25周年記念の「たまごむしタオル」がみんなの手元に…。
「ゆう」は、これからも個性豊かなメンバーさんやスタッフと物語を紡いでいきます。

セレモニーは
大盛り上がり！

みんなで歌うよ
「みなと舎のうた」

前理事長と新理事長に
特製「たまごむしポロシャツ」を
プレゼントしました。

とってもかわいい
25周年記念の
「たまごむしタオル」！

ライフゆうのメンバーさんから
お祝いをいただきました。

色とりどりの
お祝いケーキ！

1998年10月9日第三種郵便物認可（毎月3回8日発行）2023年12月7日発行SSKU増刊通巻第7770号

防災訓練

ケアホームはなえみ

ケアホームはなえみ支援スタッフ 鴨田奈奈枝・新倉則子

まだ残暑厳しい9月中旬の日曜日の午後、ケアホーム2棟合同で訓練を行いました。
今回は、「はなえみ」の裏山の土砂崩れを想定し、メンバーさんと安全に、近くの「はなあかり」まで避難するということをテーマにして行いました。
スタッフの「土砂崩れだ！家の近くまで来ている！」の掛け声で、メンバーさんは車いすに移乗して、ヘルメット、防災頭巾をかぶり、「はなあかり」まで急いで避難しました。
また、新しいスタッフが増えているので、災害により、電気、水道などのライフラインが止まった場合の、建物のシャッターやリフターの手動での使い方や、発電機や投光器の動かし方など、改めて確認しました。
以前からいるスタッフも、長い間に正しい使用方法を忘れてしまっていたことに気付くなど、今回の訓練で、反省点や課題も見つかり、災害に対して日頃の準備や、訓練がいかに大切であるかをメンバーさんとともに確認しました。

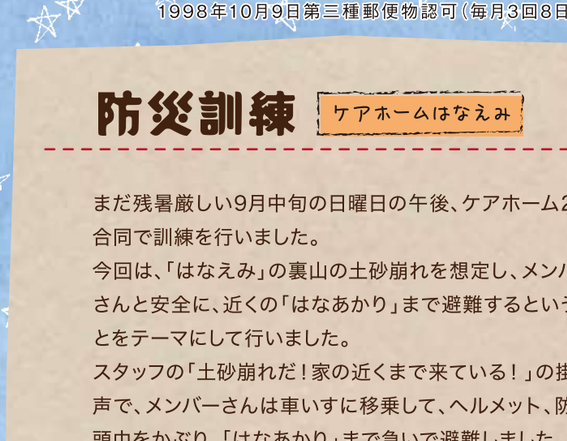
防災頭巾をかぶりました

避難経路を確認します

発電機は付くかな？

投光器の動作OKです！

月明かりの
下で…



ライフゆう

ビアガーデン

9月26日（火）3階メンバーさん、9月28日（木）4階メンバーさんが
夕方17時から2階フロアでビアガーデンを開催！
日が暮れる絶景の中、シャボン玉や音楽で盛り上がり、
美味しいごはんとお酒でみんなでワイワイ楽しみました。

ゴクゴク！

夜風が
気持ちいいな

ドリンクバーで
好きなの
飲み放題！

いつもと違う
特別なひとときを
過ごしました

シャボン玉を
たくさん飛ばしたよ